

会議録（要点筆記）

会 議 名	第5期 第4回米原市自治基本条例推進委員会
開 催 日 時	平成28年12月20日（火）午前10時00分～午後12時00分
開 催 場 所	米原庁舎 会議室2A
出席者および欠席者	出席者：大石委員、福永委員、岩山委員、垣見委員、高木委員、吉川委員 事務局：鏑田次長、小寺課長補佐、竹本主任、渡邊主任 傍 聴：なし 欠席者：吉原委員、鈴木委員
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回のふりかえり ・ 市内の市民活動の現状を紹介 ・ 意見交換
結 論	市民活動の拠点をつくる場合、どのような機能が必要かを議論した。 次回の委員会は出た意見を具体的な機能に整理する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	<p>1 開会</p> <p>※事務局進行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の会議が成立していることを報告 ・ 会長である今川委員が昨年9月に急逝されたことを報告 ・ 自治基本条例推進委員会規則第4条3項に基づき会長が欠けた時には副会長が職務を代理するため、以降は副会長による進行とする。 <p>2 あいさつ</p> <p>今川会長は「全ては地域に在り」という思いを常に大事にされていた。地域にある力をいかに引き出し、育むかというところに行政の力があると考えておられた。その中でも米原市は協働事業提案など市民の力が根付いているので、本当に出向くことを楽しみにされていた。自治基本条例推進委員会の中でもそういった会長の思いを実践していけるようにしていきたいと思う。</p> <p>3 前回の内容の振り返りについて</p> <p>6月に実施した第3回の振り返りを事務局からお願いしたい。</p> <p>※前回の内容の説明を資料1に基づき実施</p> <p>4 市民活動拠点の目指すべき在り方を考える～現状の確認～</p> <p>前回、これから目指すべき姿として活動の拠点が必要だという総意をいただいたが、今日はどんな拠点が必要になるのかをできるだけあげていただきたい。今回はワークショップ形式を考えている。付箋に思いついたことを書いてもらいたい。まずは米原の現状を把握し、それから米原市としてはどんな拠点にし</p>
副会長	
副会長	
事務局	
副会長	

事務局	<p>ていくといいかを考えていきたい。アイデアを具体的なものに落としこめるのがゴールと考えている。まずは事務局から現状の説明をお願いしたい。</p> <p>※資料2に基づき市内の活動団体等の状況を説明</p>
副会長	<p>5 市民活動拠点の目指すべき在り方を考える～意見交換～ ここからはざっくばらんに意見交換をしていきたい。</p>
委員	<p>市内でも知らない団体が多くあった。ALL芦屋みたいにそれら全部をつなぐというのは難しいと思うが、例えばA団体とB団体、B団体とC団体というように、団体同士が小さな規模でつながるだけでも新しいものができると思った。</p>
副会長	<p>新しい拠点があれば自身のまちづくり活動も活発にできると思えるか。</p>
委員	<p>米原市社協が実施するまると交流会に参加した。自分は子どもと高齢者を活動の主体にしているので、色々福祉分野の方と出会えたことが良かった。そういった機会が多くあるといい。</p>
委員	<p>自治会長や民生委員は選ばれてしまったから仕方なく頑張っているという状況。任期中に何もしなかったと言われたくないので、進めているという人も多いと思う。違和感を持っている人も多いと思う。何をするにも絶対的なリーダーがいないと長続きしない。</p>
副会長	<p>自治会の中だけで進めることには限界があるかもしれない。ルッチまちづくり大学卒業生などにつながるとイノベーション（変革）が起こる可能性がある。</p>
委員	<p>自治会のイベントも自治会長がしていると1年で終わってしまう。自治会長以外の趣味や興味を兼ねている人のリーダーシップで成り立っているところもある。</p>
委員	<p>自分はいろんな役をしているから知っていることが多い。情報が回っていく必要があると思う。情報が無いと活動する気にもならない。また、女性の集まりは多いが、男性の集まりが少ないと思っている。興味の発掘が大事</p>
委員	<p>小さな伊吹地域はまとまりやすい。</p>
副会長	<p>4つの地区の多様性も大事で、それをつなぐ拠点が必要</p>
委員	<p>年7回、お寺でイベントやコンサートをしている。若い方にも子どもにも集まっ</p>

	<p>てもらおうように工夫しているが、あまり集まらない。私も米原市社協のまるごと交流会にも参加した。人材が少ない中、リーダーが育つ環境やつなぐためのサポートが必要だと思った。</p>
委員	<p>自治会は世帯主が出席するところなので、男性ばかり。自治会とは別のメンバーでまちづくりをしている団体もある。例えばそういった自治会やまちづくり団体にルッチ大卒業生と一緒にやってみたらどうだと提案、コーディネートしてくれる人がいるといい。</p>
副会長	<p>支援のネットワークを持っている団体がどうつながるかも重要。特にコーディネート機能は重要になっていくだろう。</p>
副会長	<p>ここからは付箋を用いて、ここまでの情報を参考にこれから必要な機能を具体的に考えていただきたい。</p> <p>※それぞれ付箋に記入する時間有</p>
副会長	<p>海外の事例として、“インパクトハブ”というネットワークの形を紹介する。ハブとは拠点という意味。場所によって色々な形があるが、共通しているのは開放的で、観葉植物などもあり、居心地の良い場所を創り出しているということ。また、キッチンスペースがあるなど集まった人がお茶を飲むこともできるような、くつろげる場所にもしており、いろいろな活動をしている人たちが出会い、ざっくばらんに話をできるように工夫がなされている。大学や経済界と協力しているような拠点もある。どの施設もおしゃれさと、敷居がなく全体が見渡せるような仕組みと、参加したくなる仕掛けを用意している。また、ネットワークづくりを重要視している。個々の活動ではもう限界があるので、普段出会わない人たちをいかに出会わせるかに工夫を凝らしている。</p> <p>こういった事例も一つの参考にして欲しい。では付箋に書いた意見を発表していただきたい。※以下「 」が付箋の内容</p>
委員	<p>「ネットワークやFacebookで様々な情報を得られる形」</p> <p>フロアを一堂に見渡せて、ここに行けば今市内にどんな動きがあるかわかるという場が欲しい。Facebookなどで知り得た自分の興味のあるイベントは遠方でも関係なく行こうとするが、そこから持ち帰った有益な情報などを市民活動拠点に来て他の人に広めたくような機能になって欲しい。出入り自由な部屋があって、常時人が集まるような場があれば有効なものになる。現状のまちづくり活動は点でしかないので、点が面になるような拠点、つながる場になって欲しい。</p>

委員	<p>「団体や個人の活動をまとめたウェブサイト」 今は情報が分散している。運営者に情報があつまる仕組みが必要</p>
委員	<p>「“売ります・買います”のような手法で人材を集める」 例えば、伊吹山文字放送でもいろいろなお知らせが網羅できるといい。文字放送をネット化しているが、テレビのd ボタンのように選べる興味のあるジャンルをピックアップできたらいい。</p>
委員	<p>伊吹山TVをオンライン化しているのは知らなかった。実施していても広まっていないと効果がない。</p>
委員	<p>「場所・情報の提供、コーディネートする人」 さきほどのインパクトハブの話の中にもあったが、団体やネットワーク情報の提供だけでなく、例えば活動に必要な物の入手や備品の置場所といった様々な面でのコーディネートができる人が必要。活動に欲しいモノがあったときに声をかけると見つけられたりするといい。</p>
委員	<p>確かに自分の活動分野だけでは限りが出てくる。顔の広い人がコーディネートの中で分野を超えて人同士、ネットワーク同士をつなぐ契機になって欲しい。</p>
委員	<p>「本当にちょっとしたこと、やりたいことを相談できる人・場所」 「地域で仲間作りをしたいときにサポートできる人」 昔は自治会の女性の集まりなどでちょっとした相談や手助けなどをしてもらえたが、今はその機会も少ない。地域に入っていくきっかけになってもらえる人や窓口があるといい。</p>
委員	<p>確かに地域がまず情報交換できることが重要。男女それぞれが集まりやすい形であればよりいいと思う。</p>
委員	<p>「参加したくなるような名称付け」 今ある組織もネーミングの変更をしていくような改革や工夫を考える環境が必要。例えば“老人クラブ”という言い方を変えることで参加者が増えるのではないか。</p>
委員	<p>「交流の機会や学ぶ機会づくり」 同じような団体がたくさんあるからといって一緒にやれというのは違う。それぞれ団体ごとに思いが違う。しかし、1年に1回だけでも一緒に集まるような交流やイベントがあるといいのでは。ルッチ大とはまた違うセミナーのような形式で</p>

	市民活動の考え方などを学ぶ機会も欲しい。
委員	使命感や役回りの順番などまちづくりに関わる動機は様々だが、若い人たちは強制では集まらない。また、強力なリーダーも重要だが、たくさんの人に関わってもらうためには、やりたいという思いを大事にしながらゆるくつなげることも重要ではないか。だからこそ、その時に必要と思えることを学ぶ機会が重要
副会長	例えばテーマごとのセミナーを行い、自治会活動の研修会を実施することが効果が高いかもしれない。ピアレビューのような互いを知り合うような機会
委員	自治会長には年に1回市の会合があり、講演などが行われている。なお、自治会組織を束ねる市も組織改編を行ったりと試行錯誤でやっている印象。民生委員は傾聴や認知症講座なども実施している。
副会長	いろんな役割を持った人が一挙に学び話を聞けるような場があってもいいのではないか。
委員	「日中の若い人のいない空間・時間を埋める」 リタイヤした団塊の世代が地域に日中いるので、防災などの対策をとれるような工夫などができるといい。
委員	「なやみごと相談などの既存の制度を利用できない人をつなぐような仕組み」 既存の相談制度には行かないが、立ち直れにくいくらい大きな悩みを抱えた人もたくさんいる。個人個人を尊重し、悩みの負担を少しでも軽くするための方法を紹介するなど、生活の活力を取り戻せるような支えも必要ではないか。
副会長	市民からの提案で悩みなどの種類・内容ごとに集まれる場があってもいい。人が相互に支え合えるような形になるといい。
委員	心配ごと相談の事業は月に1回、旧町時代から制度があるが、相談者はあつまっていない。聞かれたら制度を伝えたりしているが、初対面の人に自分の悩みを言える人は少ない。逆に知らない人だから言える場合もあるし、本当に人それぞれ。
委員	悩みをもった人はただ話をするだけでも気が楽になるかもしれない。自分の地域とは離れ、市役所のような雰囲気ではなく、お茶菓子があって気楽に話せるなどの場所や環境があれば、行きやすいと感じるかもしれない。
副会長	地域につなぐ機能も必要だが、自分の住んでいる地域から離れるという機能とい

委員	<p>う考え方もできる。</p> <p>組織は表面に出ているモノへの対応で終わってしまう。問題の本質は出てこない部分にある。自分の思いを話せる人はまだ大丈夫で、本当に困っている人は声もあげることができない。そんな人にも届く支援が必要。そのために回数を重ねる必要もある。</p>
副会長	<p>どう届け、利用したいと思ってもらい、実際に利用してもらうかが重要になってくる。</p>
委員	<p>「表に出ていない中でも思いを持っている人がいる」</p> <p>どうやって形にすればいいかと思っている人も多いのではないかと。既存の組織に相談しても形にならず進まないこともある。その人にあわせて聞いて、助言をもらえるといいのではないかと。</p>
委員	<p>「共通点を持つ人の存在を知れるといい」</p> <p>気が合いそうな人、共通の趣味がある人と出会えることで変わることもある。例えばお酒の場が嫌いだから自治会の集まりには行かない人もいるし、お酒の場が好きだから参加する人もいる。共通項をどう見つけるか。</p>
副会長	<p>車やアニメなど少数派な趣味でも極めている人はどこまでも深く話せる。市民からやりたいことを募集し、実現につなげる組織も重要であり、若者を取り込むこともできる。大学など外部との連携によるコンテンツを作れるといい。</p>
委員	<p>「市の壁は厚い」「市のアドバイスが邪魔になる」</p> <p>市民同士で話しあう方がいい場合もある。市に相談するともっと広げろという話になる。楽しんで進めたいのに市に利用されている感じが出てしまう。</p>
委員	<p>「楽しさ・充実感、好きな事として続けられることの応援を」</p> <p>「10年、30年、50年先を見据えた目的」</p> <p>仕事ではない市民活動なので、楽しさ充実感が重要。今やりたいことを長く続けられる環境があることが必要</p>
委員	<p>「周りに必要とされていることを察知する」</p> <p>市にある課題の中からどんな活動をしたらいいか察知できるような力がつくといい。例えば、スポーツ専門でやっても必要に応じて文化的な要素を取り入れたりという力が団体についていけるといい。</p>

委員	市として力を入れている方向性が何なのかもはっきりと示してほしい。
委員	「リーダーとなる人の後継者の育成」 嫌々始めても活動を継続するうちに面白いと思う人も出てくる。そういう人を後継者として育成していけたらいい。
委員	「子どもを連れて仕事をできる場所」 女性が活躍するためには子どもがいてもちょっと働きたいという思いを叶える仕組みがあるといいのではないか。
副会長	みなさん大変多くの意見をいただき、感謝する。 これらの意見を事務局と整理してどんな拠点をつくるといいのかを考えて、次回の会議につなげていきたいと思う。
事務局	6 その他 ※事務局進行 次回は3月に実施予定と連絡 7 閉会

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 傍聴者： <u>0人</u> <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 一部公開または非公開とした理由 ()
会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等：)
全部記録の有無	会議の全部記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 録音テープ記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
担当課	政策推進課（内線91-246）